

## 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 27 日

所属	政策情報学部	職名	教授	氏名	箕原辰夫
研究課題	情報表現に関する複合的な研究				
研究キーワード	情報学、文字学	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	10.人や国の不平等をなくそう	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	4.質の高い教育をみんなに	16.平和と公正をすべての人に	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>文字学については、古代メソポタミアから現代までの音節文字についての断片的な系譜を調査している。インド文字へのアラム文字の影響について新たに発表された学説を紹介する研究ノートを発表する予定であったが、間に合わず、2023 年度中に発表しようと考えている。リアルタイム制御系での予測を伴う誘導表示系のシステムについては、進展がなく、過年度に購入したドローンを使ってカメラの画面を使って物体認識を行なう航行システムを 2023 年度に試作し、10 月に開催される国際学会で発表を行なう（既に論文のアブストラクトの査読が通ったので）予定でいる。メディアの計算については、本年度購入した Jetson Xavier NX を利用して、リアルタイムレンダリングのシステムを実装することを予定している。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>なし</p> <p>【学会発表等】</p> <p>Rust を用いたプログラミング教育について、CIEC PC Conference 2022、2022 年 8 月 12 日、オンライン開催</p> <p>3. 主な経費</p> <p>Jetson Xavier NX を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>なし</p>					
(本文は <u>2 ページ以内</u> にまとめること)					